

あみチャレ

チャレンジ40



特別の教科「道徳」

新学習指導要領は、今年度から全面実施ですが、新設された「特別の教科 道徳」については、平成30年度より先行実施されています。



そもそも何のために学習するの？

「人間としてよりよく生きようとする道徳性を養う」ためです。



阿弥陀小職員は、すべての阿弥陀っ子に「人間としてよりよく生きてほしい」「幸せになってほしい」と願っています。しかしながら我々職員は6年間しか子どもたちに関われません。現在も含めて、これからの生涯のなかで、人間としてどう対処すべきか判断する場面が何度も出てきます。その判断する際に「自分の生き方を考え、主体的に判断できるように」道徳の学習を行っています。



どのような学習しているの？

大まかに2つあります

- ①自分の生き方について考えを深める学習
- ②道徳的な諸価値への理解（???言葉がむずかしい!）



『「友達を大切にしよう」「うそをついてはいけない」「努力は大切だ」「思いやりの心を持とう」・・・結局最後はそうなんでしょ?先生は私達にこう言わせたいんだよね?』

いやいやそれは間違いです。

「教科書に出てきた人物はこの場面でこのような行動をした、それに対し私はこうだと思う。」

「これまでこうだと思っていたけど、このような見方・考え方もあったんや。」

阿弥陀っ子に言わせたいとすればこのような言葉です。

②については何だか道徳的な価値（公平・公正、相互理解、寛容、努力、根気強さ、親切・・・）を押し付けるように見えますが、違います。私見ですが、「君たちがよりよく生きるために、このような判断基準がありますよ。どう選択するかは君たち次第です。」という意味だと思っています。あくまでも「このような価値があるよ、考え、議論して自分自身の問題として捉えてね!」ということだと思います。



どう評価するの？



学習の状況や一人一人の成長の様子を評価します

もちろん「あなたの親切は◎、公平は△、努力は○」といった評価はしません。人間の内面を数値化したり優劣をつけることは「よりよく生きようとする」ことからズレていることだと考えます。

「すごい○○君!〜〜〜のような発言ができるようになったね、以前に比べてすごく深く考えるようになったね。成長したね!」という評価していきます。

このような言葉を投げかけられた阿弥陀っ子はどう思うでしょうか?

「自分の生き方について、このように考えられるようになった。もっと自分らしく、良い生き方が出来るよういろんな考えと出会い、成長しよう。」こんな思いや成長を期待したいものです。

これも私見ですが「特別の教科 道徳」で育てたい姿は「リモコンで動く忠実なロボットではなく、自ら『なぜ?』と問い『どうしたらいいのだろう?』と悩み、考えながら行動するアイアンマンやキャプテンアメリカ』のような姿だと思っています。（例えになってないかもしれませんが）

道徳については他にも「『特別の教科』って他の教科とどう違うの?」「道徳性を養うってどういうことなの?」等いろいろ分からないことがあると思います。今年度その授業を見ていただく機会はあまりないかもしれませんが、子どもたちの「よりよく生きようとする姿」でご理解いただけたら幸いです。